

生命倫理学(生命倫理)

科目到達目標: 現代の生命倫理の諸問題について一通りの知識を得るとともに、将来の医療従事者として今後自分自身でさまざまな問題について主体的に取り組んでいくための「考える習慣」を身につける。

科目責任者(所属): 安藤 泰至(基礎看護学)

連絡先: アレスコ棟1F102 安藤研究室 ando@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/3(火)	1	322	「医療」とはなにか?	安藤 泰至	基礎看護学	倫理とはきわめて日常的な問題であることを理解するとともに、バイオエシックス(生命倫理学)の成立の歴史についての基本的知識、および今日「生命倫理」で論争になっているさまざまな問題に共通する背景についての大まかな認識を持つこと。	医療とはなにか、QOL(生活の質)、生命倫理問題
2	4/10(火)	1	211	バイオエシックス(生命倫理学)の成立と発展	安藤 泰至	基礎看護学		バイオエシックス、医療の変貌、患者の権利運動
3	4/17(火)	1	211	インフォームド・コンセントと患者の自己決定権	安藤 泰至	基礎看護学		インフォームド・コンセント、身体への侵襲、「法理」の概念、パターナリズム、患者の自己決定権
4	4/24(火)	1	211	医学と戦争—戦時中の医学犯罪	安藤 泰至	基礎看護学		戦争と「人体実験」犯罪、731部隊、ナチスドイツの医学研究
5	5/8(火)	1	211	人体実験の倫理	安藤 泰至	基礎看護学		戦後も続く非倫理的な人体実験、被験者保護、ヘルシンキ宣言、治療と研究の区別、臨床研究の規制
6	5/15(火)	1	211	医療プロフェッションと「患者の人権」擁護	安藤 泰至	基礎看護学		医療プロフェッション、専門職の倫理綱領、ジュネーヴ宣言、人権尊重と人権擁護の違い
7	5/22(火)	1	211	人工妊娠中絶をめぐる論争	安藤 泰至	基礎看護学	生命倫理のいくつかの基本的なテーマについて、現在何が問題になっており、どのような議論が行われているのかについて、その背景と歴史的経緯を含めて理解し、それぞれの問題を自分自身の問題として、さまざまな側面から考えていけるようになること。	人工妊娠中絶、胎児の生存権、女性の自己決定権、中絶をめぐる法規制
8	6/5(火)	1	211	生殖補助技術をめぐる倫理問題	安藤 泰至	基礎看護学		不妊治療、人工授精、体外受精、精子や卵の提供、代理出産
9	6/12(火)	1	211	出生前検査・着床前検査をめぐる倫理問題	安藤 泰至	基礎看護学		出生前診断、選別の中絶、着床前診断、いのちの選別
10	6/19(火)	1	211	優生思想とその罨	安藤 泰至	基礎看護学		優生思想、ナチスの悪夢、新しい個人主義的優生思想
11	6/26(火)	1	211	安楽死・尊厳死をめぐる倫理	安藤 泰至	基礎看護学		積極的安楽死、消極的安楽死(延命治療の中止と不開始)、医師幫助自殺、尊厳死、死の自己決定権
補講	6/28(木)	5	211	臓器移植医療をめぐる倫理問題	安藤 泰至	基礎看護学		生体移植、脳死移植、心停止後移植、「脳死=死」説とはなにか?、人体の道具化・手段化
13	7/3(火)	1	211	「死にゆく人」を支える医療	安藤 泰至	基礎看護学		終末期ケア、グリーフケア、全人的痛み、二人称の死
14	7/10(火)	1	211	ヒトES細胞、iPS細胞研究をめぐる倫理問題	安藤 泰至	基礎看護学		再生医療、多能性幹細胞、ES細胞、iPS細胞、ヒトクローン胚
15	7/17(火)	1	211	ゲノム編集をめぐる倫理問題	安藤 泰至	基礎看護学		ゲノム編集、遺伝子操作、エンハンスメント(強化)

教育グランドデザインとの関連: 1、3、4、7

学位授与の方針との関連: 2、3、4

授業のレベル: 2

指定教科書: なし。講義は、毎回配布するプリントにしたがって進める。

参考書: Moodleのメールで情報提供する。全講義終了後、各項目ごとの参考文献を一覧にしたファイルを送信する。

評価: 試験 75%

小レポート 25% 講義期間中5回提出

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。